6年度

防 災 塾

『能登半島地震に学ぶ、避難生活と
過去の災害における、避難所運営の実際』

せたがや防災NPOアクション

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

せたがや防災NPOアクション

区内のＮＰＯ団体が、平時より顔の見える関係を築くとともに、発災時においてＮＰＯ団体同士の連携が図られるよう、ネットワーク化することを目的に、2014年5月に発足しました。ひっ迫する首都直下地震、激甚化する台風に備え、地域のみなさまとともに、私たちのまちを、災害に強い世田谷をめざし、一緒に活動する仲間を増やしていきたいと考えています。

〇活動テーマごとの分科会の実施－運営
〇全体会の企画・立案・実施
〇訓練（図上演習、情報連絡訓練）の実施
〇区内・区外の支援団体との関係づくり
〇防災塾、イベント・訓練等、地域の方との連携関係づくり
〇４者（区、社協、ボラ協、NPO）による連携体制への協力

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

せたがや防災NPOアクション

○能登半島地震の風景

○能登半島地震の被災地支援からみた被災地の状況

○過去の災害における、避難所運営の実際

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

消雪中は
徐行願います
石川県

島 18km
10km
寺
家

30
災害救援
31-29

せたがや防災NPOアクション

〇能登半島地震の風景

〇能登半島地震の被災地支援からみた被災地の状況

〇過去の災害における、避難所運営の実際

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

能登半島地震の全体像について

【ほかの災害との状況の違い】

●能登半島地震
…能登半島全体が被災。半島のため、支援ルートが南から北上の一方向のみ。道路被害で半島全体が孤立状態に。
津波と隆起で港湾海底地図が変化し、船舶による輸送支援も難しく。

●東日本大震災
…山間部や、西側隣県が被災していない。東方からの複数ルート（16本の道路啓開「くしの歯作戦」）で支援ができた。

●熊本地震
…九州の中心に位置しており、全方向からの支援が入れた。

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

【初動期の医療、福祉の支援体制】

●珠洲市（1月12日現地入り）の状況

・珠洲市「健康増進センター」を拠点
・DMAT、日赤、珠洲市社協（関係施設、事業所）、PWJ
・避難所避難者、在宅避難者の巡回、ローラー活動
・病院機能は回復していたが、断水の影響大
・透析患者や入院患者など、1.5次避難＝移送
・寝たきりに近い人も避難所にとどまる方→家族で支援
・（1/9日処方箋なくても）避難所で薬箱見かける。
・災害VCとしては1か月受け入れなし。
※電気はすぐ戻ったとのこと。
・介護、福祉サービスの施設大丈夫→サービス再開
・慢性的な担い手不足
※社協スタッフ、2月頭に半数が離職と聞く。
※3月に入ると、DWATも珠洲入り。

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

能登半島地震の全体像について

【DWAT（Disaster Welfare Assistance Team ）災害派遣福祉チーム】

要配慮者の福祉ニーズに的確に対応し、避難生活中における生活機能の低下や要介護度の重度化などの二次被害等を防止。
避難所等において、要配慮者に対し、専門職（社会福祉士、介護福祉士、保育士等）による福祉的な支援を行う。

※東京DWAT（令和4年）　東京都災害福祉広域支援ネットワーク　検索

▼DMAT（災害派遣医療チーム）
▼日本赤十字社（災害医療コーディネートチーム、および救護班）

▽JMAT（日本医師会災害医療チーム）
▽JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

【初動期の支援活動】

・炊き出し→5月いっぱいまで
・避難所環境整備、足湯→傾聴→健康増進センターチームに伝達
※通信環境
・衛星Wi-Fi、移動（船上）基地局など、早期配備
※正月
・安否確認が容易、担い手もいた→結果、地域内確認、避難所での情報共有→移送につながった。
・食材、米など“無意識ローリングストック”あり。
※衛生
・高機能仮設トイレ→段差が課題、結局避難所のトイレに袋をかけて。
・断水＝生活用水の枯渇
・WOTAの水循環型手洗いスタンド等の設置
※物資
・自衛隊による水、食料、新聞、灯油など毎日→御用聞きも。
・1月末にはカップ麺や保存食、水が大量に保管状態

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

KDDI
KITP0006501?
KDDI

スリムガード

能登半島地震の全体像について

【避難生活、住まいの、今後の課題】

●在宅避難者
…ライフライン（特に水）の回復→避難生活全般の環境改善

●仮設住宅、避難所避難者
…コミュニティーづくり（自治会）、自立の促進と福祉、共助による寄り添い。

▽支援活動の強化↔立地・環境、インフラ整備が進まない。
↔関心の低下

▽関連死、孤独死の防止↔サロン、訪問活動といった、寄り添いや生きがいづくりの担い手（運営者）不足

▼まちづくりと集落の看取り→担い手と生業環境の確保
→過疎化・高齢化の加速

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

せたがや防災NPOアクション

〇能登半島地震の風景

〇能登半島地震の被災地支援からみた被災地の状況

〇過去の災害における、避難所運営の実際

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

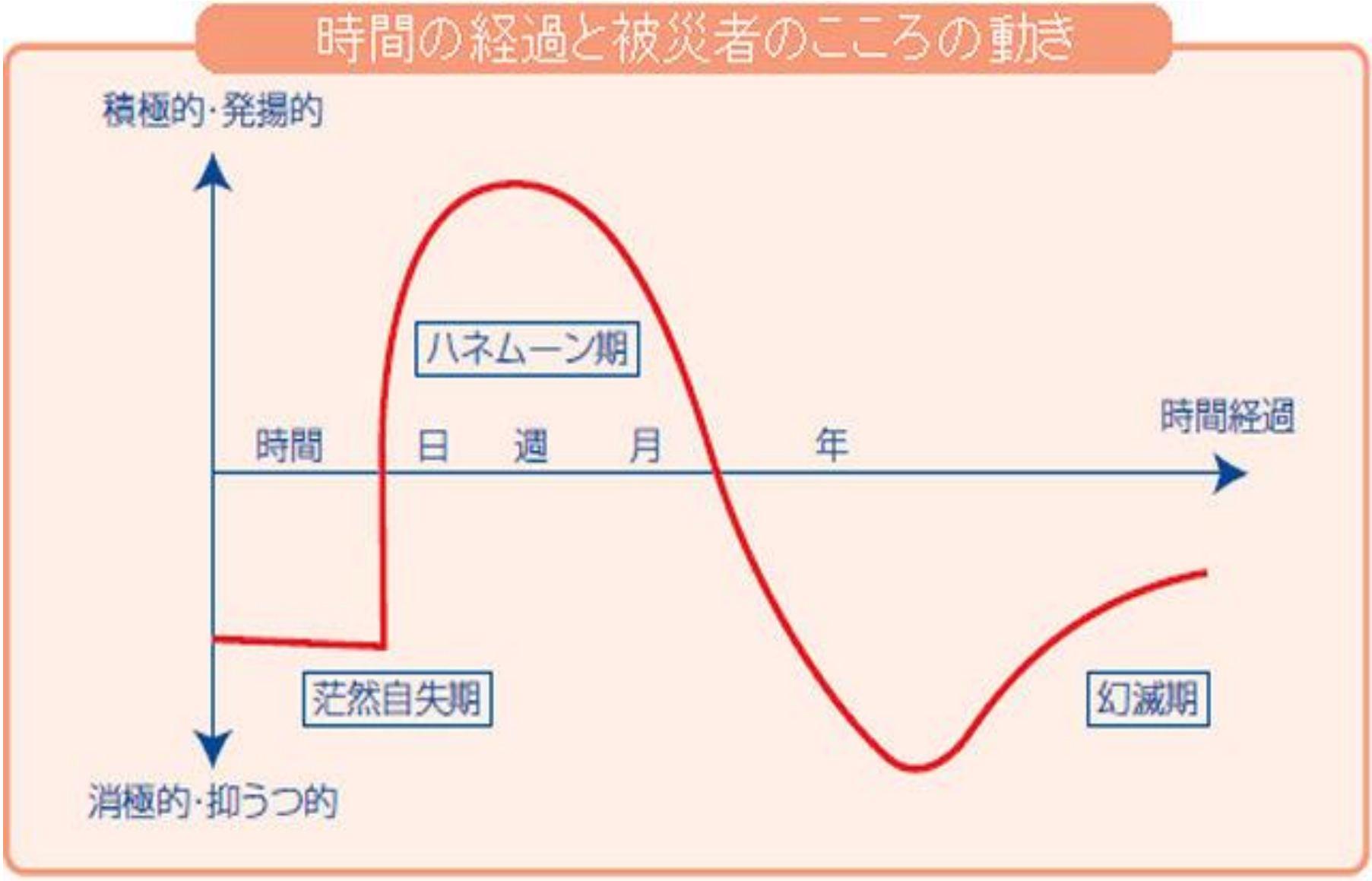
避難者をどのように運営に巻き込むか

せたがや防災NPOアクション

時期	状況	動き	主体・支援体制・学校の動き
初動期（発災直後～48時間程）	避難行動支援	救出救助、初期消火、一時受入	← 地域住民
	開設準備	開錠、受け入れ準備、ゾーニング	← 避難所運営員会
	運営体制づくり	運営委員の設置トイレ、ゴミ、物資、掲示等、担当の割り振り、会議体、スタッフシフト	※ここから、教職員の参画 かかわりの濃淡はあれど、学校再開までの長距離伴走
展開期→安定期（48時間～2，3週間～それ以降）	避難所の運営	行政との連絡体制、物資確保・配布、情報発信、衛生管理、暑さ寒さ対策など生活環境の改善	← まちセンと連携
	ニーズへの対応	在宅避難者の支援、要配慮者支援、女性、子供の支援 ペット対応、防犯	← 災害VC、サテライト設置 ※自治組織に徐々に移行 ← ライフラインの確保・復旧 ※学校再開準備開始
	避難所の安定化	ルールの確立、自主運営組織に移行、居場所づくり、相談体制づくり、こころのケア、福祉サポート	← 罹災証明等生活再建に向けた手続き ※学校再開へ準備本格化
	避難所の統廃合	仮住まいへの移行、避難所の引越	← 長期避難所、仮設、住宅再建、（小口）貸付制度、生活再建制度各種等
	閉鎖に向けて	通常の学校運営	

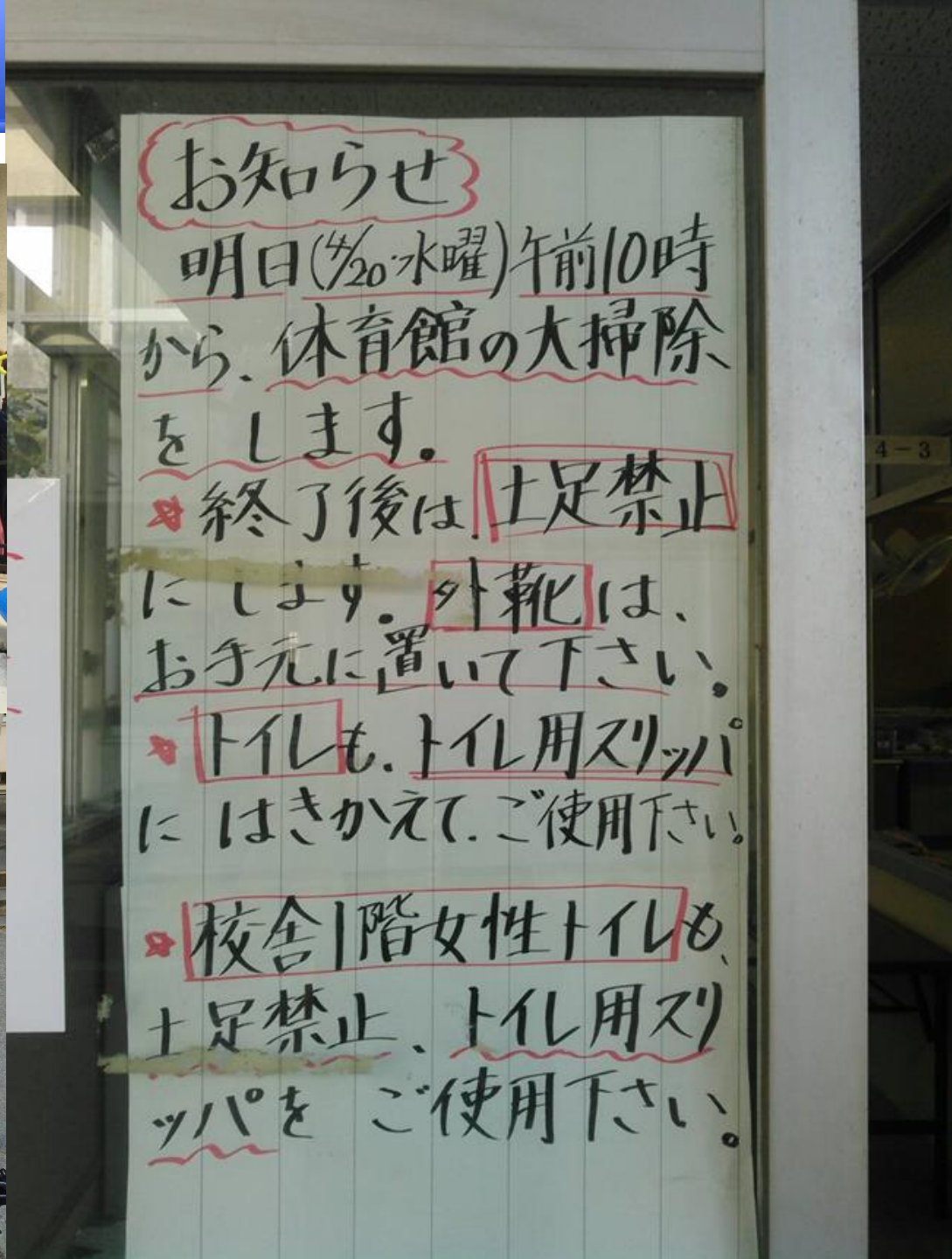
©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

避難者をどのように運営に巻き込むか



©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

～24ｈ（避難所開設に向けて）
土足禁止に



～24h（避難所開設に向けて）
トイレ・名簿の作成

名簿作成に関して

今回 皆様にご協力頂きたいのは「名簿作成」です。

この避難所で生活しているのは 何人で、誰なのかといった

今、存在する簡単なものではなく、避難所生活が長期化し

避難所を移動する時などに役立てるものです。

例えば

- 食事を提供したいがアレルギーの方はいるか
- 援助が必要な障害を持った方はいるのか
- 自宅へ帰れる可能性はあるのか

などなど 迅速にかつ安心な避難所生活を作る為に

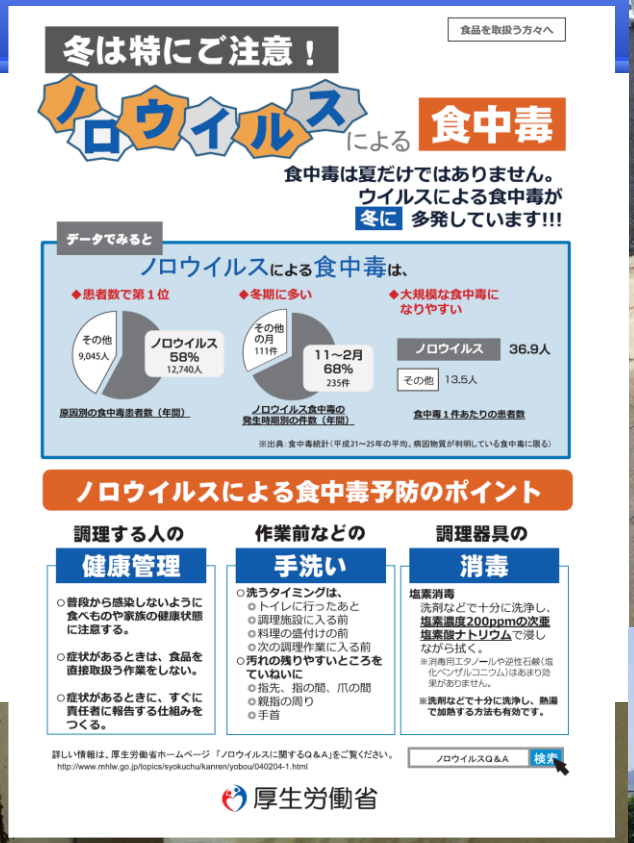
また、皆様の今後の生活を考える為に必要な情報

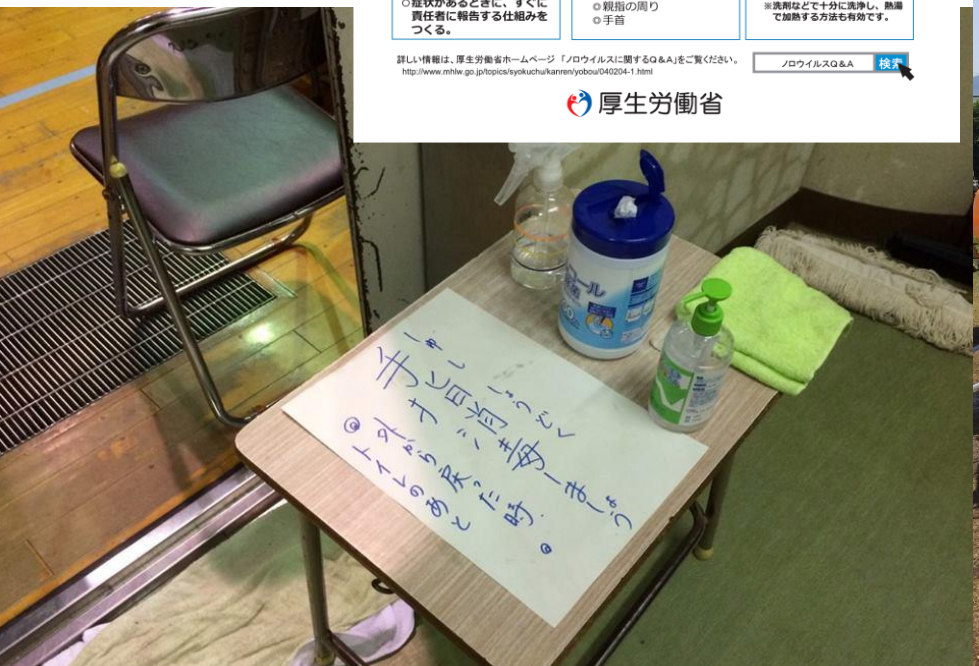
ばかりです！

ご協力 よろしくお願い致します！

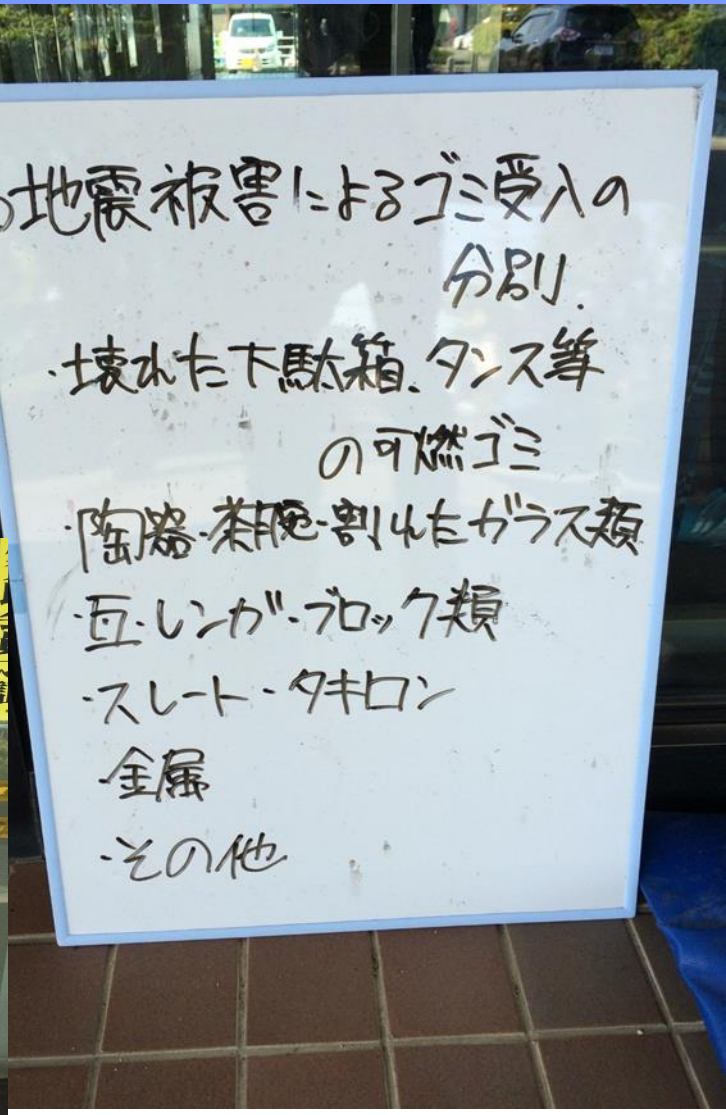
～72h（避難所環境整備）

衛生・ゴミ





～72h（避難所環境整備）
衛生・ゴミ



たがや防災NPOアクション　無断転載禁止

ごみ処理分別リスト

ごみの分別が大変細かくなっております。
下記、分別方法でお願いします。

- ■家具・角材・柱
- ■可燃粗大
- ■プラスチック
- ■ソファ・布団・衣類
- ■金属
- ■金属混合
- ■ガラス・陶器
- ■瓦(かわら)
- ■畳(たたみ)
- ■コンクリート
- ■スレート
- ■石こうボード
- ■サイディング
- ■瓦礫(がれき)
- ■生木
- ■ばっ根
- ■テレビ・冷蔵庫・エアコン・冷蔵庫
- ■その他家電

※一般ごみ、カン、ビン、ペットボトル、本、紙類は
引き取り不可になっています。

よろしくお願いします。

・ドアをあける
・カーテンしめる

ドア4 ⑨④③
ペコ3 989
ス2
国1

・大→本
・~~事務所~~

ハカギ+1 409
ハルカ5 408
ゴミ 4+1 ~~405~~ 402
ヌガキ4 ⑱
イチカワ4 407
トーマカワ5 406

一家庭用品 ゴミ分別について

○ガレキ置き場に出せる主な家庭用品

布類 処分場に 項目事分類
- (1)布団,衣類
- (2)クツ
- (3)カバン

処分場に 項目事分類
- (1)陶器
- (2)ガラス(グラス,ガラス製食器,ガラス窓)
- (3)蛍光管(電球等)

- ダンボール
  (雑誌,本,コミック等は持ち込み不可 PPでくくって資源ゴミ)
- プラスチック(PP収納棚,プラスチック製キッチン用品,プラスチック製バス用品,プラスチック小物可)
- 金属類(鍋,フライパン等のキッチン用品可)
- スプレー缶(缶に穴をあければ処分場引き取り可)
- 小物家電(ドライヤー等)
- 大型家電
- 木製家具(ガラス扉はガラスをはずして持ちこみ)

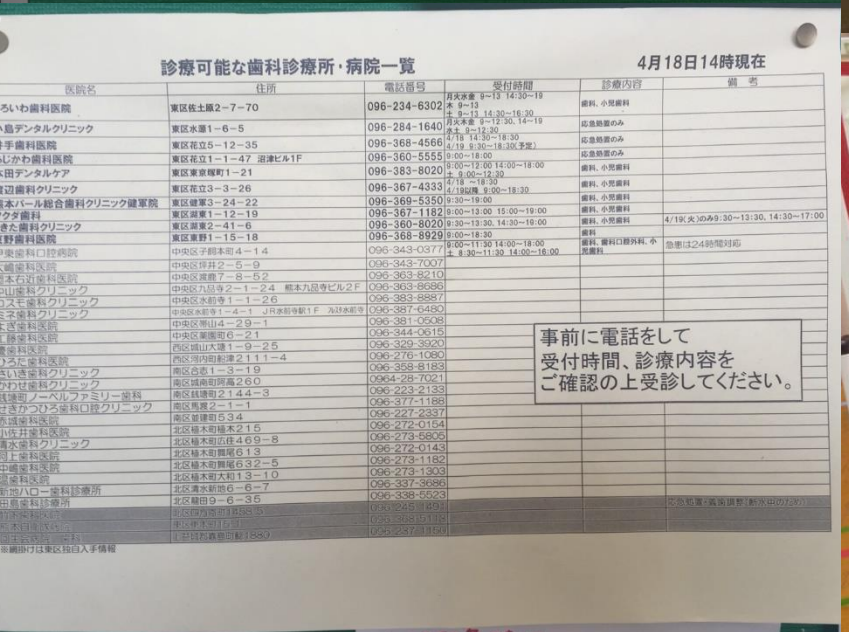
(さまれけ分店)

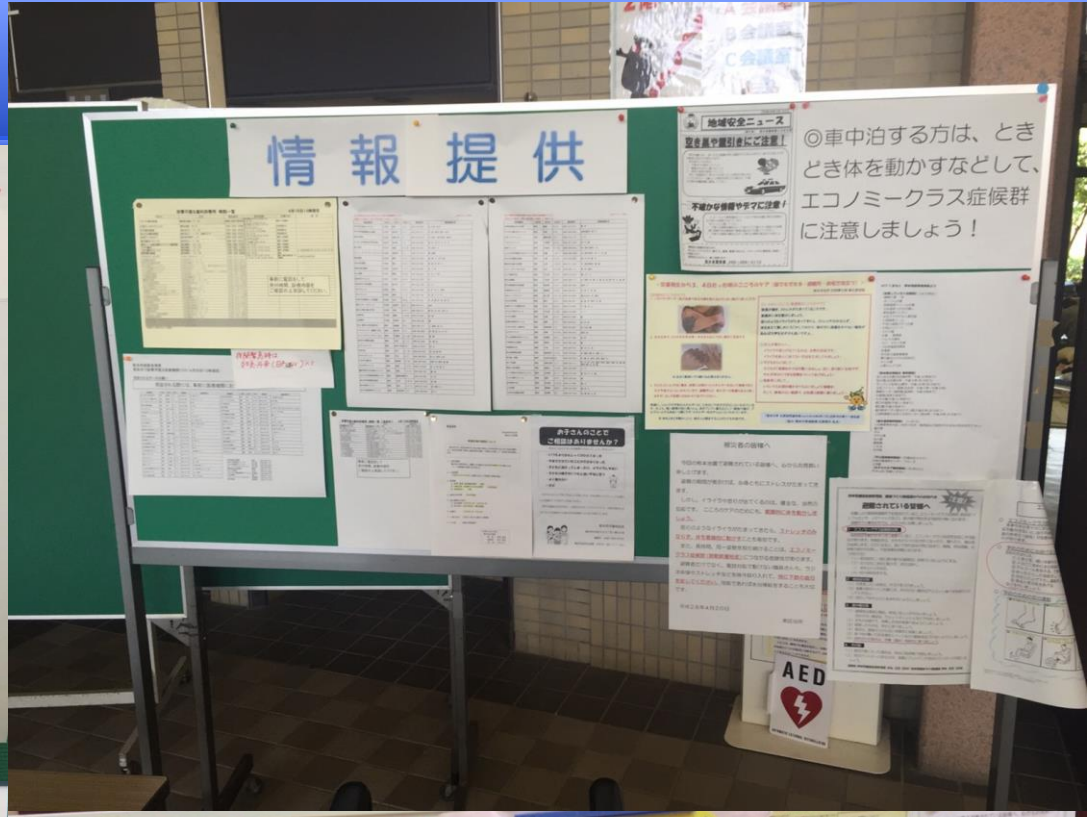
上記以外 ガレキ置き場引き取り不可.

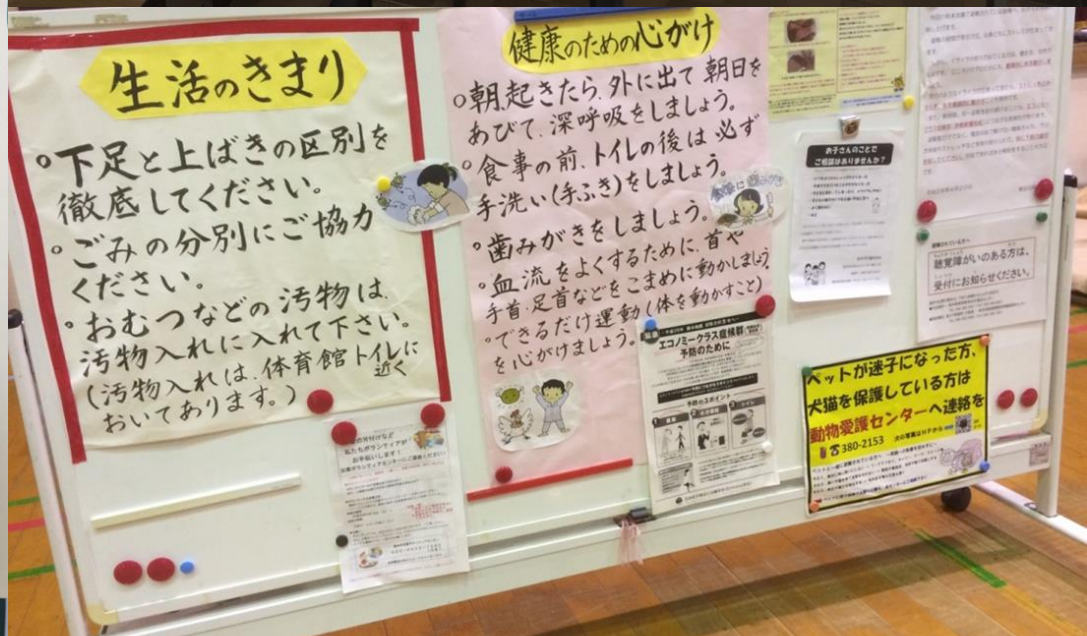
- 一般家庭ゴミ(黄色い指定袋)
  (生ゴミ.小物類、発泡スチロール,他雑品)
- 資源ゴミ(透明に緑の字)
  「ビン,缶(ビン,カンはまとめてOK)

・雑紙,本
PPロープで~~しばって~~
まとめる。

～72h（避難所環境整備）情報







市営住宅に関する説明の流れ

Q 市営住宅提供の話知っていますか？
↓知らない
A 熊本市在住で家が半壊～全壊の人対象で
住宅の提供があります。

Q 期間は？→ 入居日から6ヶ月。必要に応じて伸間
Q お金は？→ 光熱費と共益費及び自治会費を負担
Q 保証人は？→ 不要
Q どうやったら入れる？→ 手続きして抽選に受かったら

Q 手続きどうやるの？

① 期間場所
→ 熊本市役所 9階。4/23～5/2。8:30～17:00。

② 必要なもの
① 罹災証明。(区の福祉課で申請)
※ 後日提出可能ではあるが、半壊全壊以外だと
原状回復 明け渡し 家賃徴収。
② 住民票or本人確認できるもの
③ 代理人が申し込む場合 印鑑。

Q いつ入れる？
→ 5月3日～5日 抽選結果分かり
5月6日～順次入居開始

家屋全壊・半壊された方への市営住宅の提供について（ご案内）

熊本市では、平成２８年４月１４日以降に発生した平成２８年（２０１６年）熊本地震により、住宅が全壊・半壊した被災者を対象に一時的な入居として、次のとおり市営住宅を提供します。

1 入居対象者
熊本市に住所を有し、地震により居住する住宅が全壊または半壊した方。
※ 一部損壊は対象となりません。

2 入居期間
入居日から６ヶ月以内。（必要に応じて１年間まで更新可能）

3 家賃等
① 家賃、敷金、駐車場使用料 ： 免除
② 光熱水費、共益費及び自治会費等 ： 入居者負担
③ 連帯保証人 ： 不要

退去時の修繕
原則免除。（但し、入居者の過失により修繕の必要が生じたとき、また入居資格がないと判断したときは、その修繕費用を負担していただきます。）

住宅戸数
５０戸程度

に必要なもの
罹災証明（後日の提出も可。なお、後日全壊、半壊以外が判明した場合は、使用期間中の家賃を徴収し、原状回復と速やかな明渡しをしていただきます。）
※ 必ず各区の福祉課で罹災証明の申請をしてください。
② 住民票または、本人を確認できるもの（運転免許証、保険証など）
③ 印鑑（代理人が申し込む場合のみ）

7 受付期間及び窓口
① 受付期間 ４月２３日（土）～５月２日（月） ８：３０～１７：００
② 受付窓口 熊本市役所 ９階会議室

8 入居者選考
申込み時に希望住宅の区を記入して頂き、各区ごとの抽選とします。
※ 特定の市営住宅を選択することはできません。

9 抽選日
５月３日（火）～５日（木） ※厳正なる抽選の上、当選者にご連絡します。

10 入居予定日
５月６日（金）から順次入居開始

＜お問い合わせ先＞
・中央区、北区、西区に応募される方
熊本市（中央・北・西区）市営住宅管理センター ０９６－３２７－５１０１
・東区、南区に応募される方
熊本市（東・南区）市営住宅管理センター ０９６－３１１－７８３３

～1週間（避難所環境整備）
ペット

新鮮グルメ

～避難場所から被災生活者支援拠点へ～

【耐震化、不燃化の促進】→ 避難しなくていい街づくり
→ 在宅避難によるストレスフリー

【特別なケアが必要な方】→ 避難所での集中対応が可能
→ 次善の在宅避難者サポート

※在宅避難の課題は
・・・孤立、情報弱者、支援の偏り、見落とし、食、初期医療・治療の遅れ、肉体・精神的疲労．．．etc

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

被災生活者支援拠点として

見えやすい困り事
・妊産婦、乳幼児・・・母子避難所の案内は？
・障害者、要介護者・・・福祉避難施設への移送は？人数は？
・持病のある方・・・診察可能な病院や処方薬の入手方法は？
・外国人・・・宗教上の課題は？相談窓口は？＝どこにつなぐ？

見えにくい困り事
・公的支援プログラム情報がわからない、罹災証明って？
・家の中の片づけは？
・子供を持つ世帯のどのくらいがアウェー育児か？
・食物アレルギー、アナフィラキシー既往症の方は？
・内疾患、精神疾患、普段は薬で対応できていた方は？
・装身具や介護器具等の不具合は？
・プライバシー保護、性犯罪防止、治安を守るためには？
・ジェンダーギャップやLGBT理解は？　・・・etc

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止

被災生活者支援拠点を支援する

避難所・被災者支援拠点の運営にかかわる方々、外部支援を頼ってください。

「誰が、何に困っているか」という個人情報はいりません。

「どんなことに困っている人が、何人くらい、いつまでにどれだけ増え・減りそうか」というニーズ情報をください。

世田谷が被災したときの外部支援団体の窓口は
「せたがや防災NPOアクション」が担います。

拠点は、世田谷線山下駅隣接の「たまでんカフェ山下」
電話番号：03-5426-3737　FAX：03-5426-3738
（平時はFAX 専用、発災時は電話回線としても使用）

©2024 せたがや防災NPOアクション　無断転載禁止